

10月の衛研検査情報

～トピックス～

残留農薬検査（その2）

当所では、横浜市内に流通する農作物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成22年度より一農作物当たりの検査項目数を追加し、検査体制を一層強化しています。今回は、平成23年8月から9月末の期間に食品専門監視班より搬入された農作物等の検査結果を報告します。

主な結果 なし、ぶどう、パプリカで農薬が検出されましたが、残留農薬の基準値を超えるものではありませんでした。

平成23年度 医動物・種類同定検査のまとめ（7～9月）

医動物担当では、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 7月から9月の種類同定検査件数は、14件でした。内訳は昆虫類11件（ハチ目・コウチュウ目各3件、チョウ目2件、ハエ目・シロアリ目・トビムシ目各1件）、その他3件でした。

魚介類中の動物用医薬品検査結果（その1）

平成23年6月に食品専門監視班が収去した、市内に流通するうなぎ8件及びうなぎ蒲焼4件について、抗生物質のテトラサイクリン系（3項目）及びクロラムフェニコール、並びに合成抗菌剤のマラクイトグリーン類（2項目）、ニトロフラン類（3項目）及びエンロフロキサシン等（28項目）について検査を行いました。

主な結果 37項目のすべての検査項目で不検出でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成23年8月は、手足口病、マイコプラズマ肺炎、B群レンサ球菌（GBS）感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は188,821件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。